

会議結果報告書

平成31年6月6日

会議の名称	令和元年度 第1回在宅医療・介護連携代表者会議及び認知症施策推進会議
開催日時	令和元年5月24日（金）午後7時30分～9時
開催場所	市役所 3階 301・302会議室
出席委員	岩崎委員、宮本委員、正岡委員、田代委員、柳委員、西委員、太田委員、 深谷委員、富澤委員、田村委員、柴田委員、関根委員、鈴木委員、大原委員、 土屋委員、石幡委員、飯田委員、佐々木委員、原藤委員（計19人）
欠席委員	鎌田委員、福島委員、長谷川委員、川上委員、溝尾委員（計5人）
議題	議事 （1）在宅医療・介護連携推進事業及び認知症施策推進事業について これまでの取組みと今後の計画について （2）ワーキンググループ活動について （3）訪問診療受給者調査結果報告 （4）その他 周知事項等、新規事業所紹介
結果	審議内容の記録のとおり （傍聴者0人）
事務局	朝霞地区医師会地域包括ケア支援室 宮崎コーディネーター、 健康福祉部豊島次長、長寿応援課中村課長、奥田主幹、斉藤主査、高橋主事
審議内容の記録（審議経過、結論等）	
<p>1 開会</p> <p>2 岩崎会長あいさつ</p> <p>3 議事</p> <p>（1）在宅医療・介護連携推進事業及び認知症施策推進事業について これまでの取組みと今後の計画について ※事務局より説明。 本市の在宅医療と介護を取り巻く状況について、統計を基に説明。 高齢化率について、平成31年4月1日現在において市全体では24.25%、地域別では最も高いのが館で43.43%、低いのが幸町で18.38%である。介護認定率は、市全体では14.3%、地域別では最も高いのが柏町で16.39%、低いのが館で9.13%である。小さな市域でも、地域差が大きく、各地域の特性を捉えた取り組みが必要である。85歳以上の高齢者の約半数は介護サービスを利用しており、加えて、医療や生</p>	

活支援に対するニーズも高くなるといわれている。年齢階級別将来推計人口を見ると、2025年には、85歳以上高齢者が2020年の1.4倍、2030年には1.7倍、2035年には2.1倍に及ぶ。医療や介護、生活支援の包括的な支援整備の推進が重要である。

これらを踏まえ、「住み慣れた地域で最期まで療養したいという市民の希望がかなえられ、自由な選択により自分らしい最期を迎えられる志木市」を在宅医療・介護連携推進の目的としている。

平成30年度は、①在宅医療・介護連携課題抽出グループ、②医療・介護関係者研修グループ、③地域住民への普及啓発グループの3つのワーキンググループに分かれて、具体的な取り組みについての検討や事業を実施した。

それぞれの取り組みについては、

① 在宅医療・介護連携課題抽出ワーキンググループ

志木市医療介護連携ワークショップを9月、12月、3月に市民会館で開催した。医療、介護関係者を対象とし、延べ239人が参加した。近隣の新座市、朝霞市の病院や訪問診療専門のクリニックにも呼びかけ、参加が得られた。

② 医療・介護関係者研修グループ

志木市に係る医療や介護関係者が顔を合わせ、自由に意見交換をする場として、平成28年度から開催している「ケアカフェしき」を11月と2月に開催し、延べ193人が参加した。

2月には、専門職研修も兼ねて開催し、参加している専門職等が講師となった。

③ 地域住民への普及啓発ワーキンググループ

市民向け講演会を10月に市民会館で開催し、117人が参加した。当日は、ロビーに介護用品の展示や口腔ケアのサンプル品配布、いろは百歳体操の体験コーナーなども設け、医療や介護についての普及啓発を行った。医療介護情報誌「ほほえみ」も2回発行した。

令和元年度も、①～③のワーキンググループを編成し、取り組みを進化していけると良い。また、今年度は先進自治体等の視察も検討している。

(2) ワーキンググループ活動について

※事務局より説明。

本日、第1部終了後、ワーキンググループに分かれて、それぞれ今年度の活動内容と時期を検討する。活動に際して、ワーキンググループごとにリーダー、サブリーダーを選出していただく。

(3) 訪問診療受給者調査結果報告（資料あり）

本市における在宅医療の状況や将来需要を捉えるため、昨年11月に市内居宅ケアマネジャー及び対象月に訪問診療の介護給付実績があった近隣市居宅ケアマネジャーの協力を得て、訪問診療の受給者調査を実施した。集計及び分析は埼玉県立大学研究開発センターの協力を得て、報告書（資料）を作成していただいた。

4 その他

各団体等からの周知事項

➤ ニュースレター館・幸町の紹介

石幡委員より、高齢者あんしん相談センター館・幸町の今年度事業予定について紹介があった。

➤ 朝霞地区医師会地域包括ケア支援室の紹介

地域包括ケア支援室・宮崎コーディネーターより、地域包括ケア支援室で行っている相談や入院支援について紹介があった。

➤ 新規事業所の紹介

平成31年4月1日に開所した「きらめき訪問看護リハビリステーション志木事業所」所長（看護師）の中村氏、理学療法士の児玉氏より事業所の紹介があった。

〈次回日程〉

令和元年度 第2回在宅医療介護連携代表者会議及び認知症施策推進会議

令和元年9月20日（金）午後7時30分～9時、市役所3階301・302会議室

以上